

岡山県福祉相談センターの見学

1年生 西迫桃果

令和5年2月22日に岡山県福祉相談センターに行きました。

NPO あんしんネットのコーナーでは、まず、感覚統合という身体障害者・知的障害者・精神障害者が癒され、脳が快刺激となる環境設定法があることを学びました。これは、障害者が、触覚・匂い・痛覚などの全ての感覚を統合させるために、適度な感覚刺激を受け楽しみながら自分のものにしていくことでリラックスにつながる空間であることを知り、今後の実習で活かしていきたいと思いました。

次に、展示用具の中の車いすでは、10種類以上ありどのような目的で車いすを使うのか明確にし、その人のニーズや生活に合った車いすを選ぶことが大切だと気づきました。高額なものであるが、その人を理解し、活用できる社会制度を選択し、安全で安心して自立した生活できるように関わることが大切であると学びました。

障害者IT機器展示・体験コーナーでは、障害者の伝えたいことが表示できるような様々な種類のパソコンやタブレットがありました。その中で「伝の心」は、目線で文字を入力することができ言葉が発することができない人の言葉を伝えることができ、障害者の気持ちを受け取ることができると感動しました。

障害者センターでは、障害がある人が自立して快適な日常生活を安全に送れるような福祉用具が2万5千点あり、障害がある人を支えていることを知りました。今回の学びを通して私は、社会制度を学習し対象に合った福祉用具を説明できるようになりたいと思いました。そして、安全・安楽な生活が自立してできるよう障害がある人を支えていけるようになりたいと思い、これから頑張って学習深めていこうと決意しました。



しっかり支えられていて
安心できますね。

